

3/13
(金)

529人が旅立ち
各中学校で卒業証書授与式

市内各中学校

ceremony

旅 立ちにふさわしい晴天の中、市内の6つの中学校で卒業式が行われました。このうち月館中学校では、佐々木透校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。佐々木校長は「新しい道を切り拓き、夢を追い続けてください。そして家族の愛を心で感じられる強い大人になってください。」とはなむ



けの言葉を送りました。生徒代表の関根蒼海さんは、文化祭で努力した経験などを振り返り「全ての行事に“月中最後”



←佐々木透校長から須田市長に校旗が返納される

↓在校生と心をひとつに式歌を歌う



がついて責任感が増しました。自分の決めた将来に向けて歩みます。」と決意を述べました。

式直前の休校や内容の変更で準備が十分ではない中、終始堂々とした姿で式を終えた卒業生たち。月館中学校の最後の1ページを締めくくるにふさわしい、立派な式となりました。

2/20
(木)

大きくなって帰ってきてね
大石小児童がサケの稚魚を放流

祓川（霊山町）

event

大 石小学校の2、3年生がサケの稚魚約400匹を祓川（広瀬川支流）に放流しました。この稚魚は「広瀬川に鮭を戻す会」が、昨年12月に広瀬川から採った卵をふ化させたものです。同会会長の二瓶富章さんが、稚魚が成長して川に戻ってくるまでの過程を説明し、「多くの稚魚が戻ってくるように願って放



流してください」と呼びかけ。児童たちは「大きくなって元気に帰ってきてね」と話し、稚魚を放流しました。

2/9
(日)

税への関心と理解を深める
書写コンクールで36点を表彰

伊達市役所秘書広報課

event

小 中学生の税に関する書写コンクールの表彰式を行いました。このコンクールは、次代を担う小中学生に、書写を通して税に関心を深めてもらうこと、税の仕組みや役割を知ってもらうことを目的に開催しています。今年度は、市内の小中学生から1,810点の応募があり、優秀な作品36点を表彰しました。受



賞作品は、5月10日まで霊山・伊達中央交流館や月館総合支所など、市内の公共施設を巡回して展示します。

